

平成29年8月4日

報道機関 各位

朝日町「高齢者に優しいまちづくり」にホコケン協力

あさひ総合病院に『公共用歩行車 シェアウォーカー』を設置

富山大学歩行圏コミュニティ研究会（事務局：富山県富山市、代表：中林美奈子、以下ホコケン）は、歩行支援ツール（歩行補助車）の助けを多少借りながらでも自分で歩いて、住み慣れた地域で暮らし続ける。そんな風景を共有しながら、公民学産の協働プロジェクトチームとして2011年より様々な取り組みを展開しています。これまでに、利用者の意見を取り入れながら、プロジェクトメンバーである三協立山株式会社（本社：富山県高岡市、社長：山下清胤、以下三協立山）と協働で使いやすく安全でおしゃれな歩行補助車を開発し、富山県富山市で歩いて暮らしたくなるまちづくり活動を行ってきました。

富山県朝日町（町長：笹原靖直）は、高齢化率が県内第一位。高齢者が住み慣れた地域で、元気に生きがいを持って暮らしていける高齢者福祉の促進に注力しています。この度、朝日町はホコケンの活動に注目し、高齢者の外出機会の向上・受診の利便性を高めるため、あさひ総合病院をはじめとする町内施設に歩行補助車の設置を決定しました。今回の朝日町での取り組みは、ホコケンにとって富山市での社会実験を除く自治体初の地域実装事例であり、ホコケンとしても歩行補助車の寄贈等を通し、朝日町の取組みに協力することになりました。

設置する歩行補助車は三協立山の販売モデルである『公共用歩行車 シェアウォーカー』を用い、町の購入に加え、朝日町在住のホコケンメンバーからの個人寄贈、ホコケンメンバーである三協立山からの寄贈により整備します。まずは、8月9日に関係者が一堂に会し、『公共用歩行車 シェアウォーカー』の贈呈式を行い、地域実装に向けた方策を検討します。

つきましては、当日の取材・報道方よろしくお取り計らい願います。

この件に関する報道関係の方からのお問い合わせ

◇担当：歩行圏コミュニティ研究会代表 中林美奈子（富山大学大学院医学薬学研究部 地域看護学講座准教授）

電話：076-434-7444 Fax：076-434-5189 ホームページ：<http://hokoken.org/>

住所：〒930-0194 富山県富山市杉谷 2630 富山大学地域看護学講座 中林研究室内

◇朝日町「高齢者に優しいまちづくり」協力の概要

プロジェクト名	朝日町「高齢者に優しいまちづくり」協力	
参加機関	ホコケン、三協立山、朝日町	
実施期間	2017年8月9日～	
内容	朝日町が行う「高齢者に優しいまちづくり」 ●あさひ総合病院等における『公共用歩行車 シェアウオーカー』の設置と活用	
ホコケン	取り組み	朝日町が行う「高齢者に優しいまちづくり」への協力
	目的	産学官民協働による歩いて暮らしたくなりまちづくりモデルの開発
三協立山	取り組み	『公共用歩行車 シェアウオーカー』の提供
	目的	安全で使いやすい歩行補助車に関する知見の取得
朝日町	取り組み	『公共用歩行車 シェアウオーカー』の購入、町内施設での実装
	目的	高齢者福祉の促進・介護予防

◇歩行補助車贈呈式の概要

イベント名	歩行補助車贈呈式	
主催	朝日町	
出席者(予定)	<p>◇ホコケン 【富山大学】 永井嘉隆(研究戦略室)、中林美奈子(医学部看護学科准教授)、河原雅典(芸術文化学部准教授)、鳥海清司(副学長・人間発達科学部教授)</p> <p>【三協立山】 黒崎聡(取締役 総務人事統括室長)、山田公一(三協マテリアル社事業企画課課長)、川崎 弘士(三協マテリアル社製品技術課)</p> <p>◇朝日町 笹原靖直(町長)、山崎富士夫(副町長)、道用慎一(あさひ総合病院事務部長)、中嶋育美(あさひ総合病院看護部長)、中島優一(健康課長)</p>	
日時/会場	2017年8月9日(水)10:00～11:00 朝日町役場 1階町民ホール	
内容	<ol style="list-style-type: none"> 開会 寄贈の主旨説明 <ol style="list-style-type: none"> 朝日町: 今回の経緯を説明します ホコケン(富山大学): 協力の主旨を説明します ホコケン(三協立山): 寄贈の主旨を説明します 歩行補助車の紹介/デモ 寄贈品の贈呈/写真撮影 町長挨拶/感謝状の授与 意見交換: 地域実装に向けた方策について話し合います 閉会 	<p>■今回寄贈する『公共用歩行車 シェアウオーカー』</p> 